

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

山形県尾花沢市

交付対象事業の名称	交付金の種類	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)					本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
			指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
			指標①	指標②									
1 尾花沢市総合戦略策定事業	基礎交付	10,000,000	指標①										
2 おばなざわわんぱくキッズ育成事業	基礎交付	1,184,865	指標①	知育事業の実施	80	回	H28年3月	100		総合戦略のKPI達成に有効であった	子育てで日本一を目指すための特徴のある保育事業として、外国人講師による英語のレッスン等、他にはない子育ては移住も期待できるものであり、継続し実施されたい。	事業の継続	すぐに顕著な効果が出るものでなく、継続実施し効果をあげていく。
			指標②	食育事業の実施	16	回	H28年3月	15					
			指標③	体育事業の実施	24	回	H28年3月	25					
			指標④	徳育事業の実施	20	回	H28年3月	15					
			指標⑤										
3 交流人口拡大事業	基礎交付	5,283,184	指標①	交流人口の増加	10,000	人	H28年3月	76,400		総合戦略のKPI達成に有効であった	今事業により総合ファンフレットが完成した。道の駅では平日でも50部以上の持ち帰りがある。宮城県と本市を結ぶ、国道347号の拡幅工事が完成するため、更に周知を図られたい。	事業の継続	効果を着実なものにするために、宮城圏域を中心とした取り組みを継続し実施する。
			指標②										
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										
4 活力ある産業づくり事業	基礎交付	15,585,000	指標①	派遣事業の実施	3	件	H28年3月	3	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	企業の誘致は、今後も継続されたい。国道347号の通年通行開始も企業へ周知されたい。畜産のHPは「雪(ユキ)降りと牛」のイメージにマッチした素晴らしい出来である。	事業内容の見直し(改善)	派遣事業は当面これ以上のニーズがなく見直しを図る。また、企業セミナーは、本市から近い宮城県北部など国道347号沿いをターゲットにし見直しを図り実施する。
			指標②	6次化支援事業実施	12	件	H28年3月	5					
			指標③	企業セミナーへの参加	40	社	H28年3月	43					
			指標④	企業奨励金事業の実施	2	社	H28年3月	3					
			指標⑤	除雪費補助事業の実施	2	社	H28年3月	5					
			指標⑥		3	%	H28年3月	12					
5 克雪対策事業	基礎交付	8,120,733	指標①	モデル装置見学者数	50	人	H28年3月	24	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	見学者の増加に向け、産業まつり等、冬期間だけでないPRを実施し、周知を図られたい。	事業の継続	モデル装置の移動は冬期間のみであり、周知や効果の検証に時間を要するため、継続し実施する。
			指標②	機械購入補助の実施	100	人	H28年3月	86					
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										
6 尾花沢すいかブランド推進事業	タイプⅠ	6,485,400	指標①	モニタリングの実施	200	件	H28年3月	181	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	モニタリングも成分分析も大変期待できるものであり、民間企業への活用を促す取り組みを実施されたい。	事業の継続	モニタリングにより、販売への手ごたえを受けた事業を継続実施する。
			指標②	機能性分析の実施	1	件	H28年3月	1					
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										
7 活力ある産業づくり事業	タイプⅡ	3,369,000	指標①	福原工業団地問合せ	10	件	H28年3月	3	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	企業誘致も蕎麦も、マンネリ化しない取り組みを実施する必要があり、その時々の流れを捉えるなど、国道347号の通年通行を活かした見直しを図られたい。	事業内容の見直し(改善)	工業団地のPRについては一過性のものでないため、継続し実施するも、今後は、国道347号の通年通行を活かした事業の見直しを図っていく。
			指標②	そば街道入込数の増加	10	%	H28年3月	2					
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										
8 地域づくり事業	タイプⅡ	1,315,364	指標①	シンポジウム参加者数	300	人	H28年3月	400	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地域除雪は地域と市が一体的に取り組むもので大変素晴らしい。今後とも継続をされたい。	事業内容の見直し(改善)	地域の機運はシンポジウムにより高まったため、地域除雪は継続実施する。シンポジウムは必要に応じ実施するものと見直しを図っていく。
			指標②	地域除雪の実施	2	地域	H28年3月	7					
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										
9 移住・定住促進事業	タイプⅡ	4,042,872	指標①	空き家バンクHP掲載件数	2	件	H28年3月	3	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	空き家バンクの登録が伸びてきているようであり、空き家の利活用を促す移住定住施策を充実し、空き家が発生しても、放置されない流れを継続されたい。	事業の継続	今後も増加の見込みがあり、空き家の利活用を促す施策と相乗効果を持たせ継続し実施する。
			指標②	空き家の減少	6	件	H32年3月						
			指標③										
			指標④										
			指標⑤										